年 度 2025 年度 科目コード J-G01 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 コミュニケーションカツドウ 演習 対面 公務員科 1年制 コミュニケーション活動 時間数 履修学年 履修時期 必修・選択 単位数 担当教員 通年 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 学校行事や体験学習を通じて、教科を超えた幅広い知識や社会的スキルを習 知識・技能 得し、集団生活やイベント運営に必要な基本的な能力を身につける。 活動を通じて、状況に応じた適切な判断や行動を学び、他者と協力して課題 思考力・判断力・表現力 を解決する力や自分の考えを的確に表現する力を育む。 行事を通じて他者との交流を深め、協調性や責任感を養う。また、多様な経 学びに向かう力 験を通じて新たな学びに向かう意欲や社会の一員としての自覚を培う。 授 業 の 概 要 通常の科目の学習を越えたさまざまな学習活動を行う。 成績評価基準 出席状況および日常評価により評価する。 出 欠 席 90% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 1. 入学式 1 2. ハイキング 4 3. 終業式 2 4. 成績発表 2 5. 防災訓練 1 6. 卒業研究発表会 4 7. 卒業発表 1 8. 交流会 15 その他 関連科目

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-G02 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース キャリアデベロップメント 演習 対面 公務員科 1年制 キャリアデベロップメント 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 通年 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 就職活動の流れ、就職活動に必要な知識をつける。 知識・技能 自身の就職への意識・理解を高める。他者と協力して課題を解決する力や自 思考力・判断力・表現力 分の考えを的確に表現する力を向上させる。 グループで課題に取り組むことで、社会の一員として貢献する意識を培う。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 就職活動に必要な支援を行う。 成績評価基準 出席状況および日常評価により評価する。 出 欠 席 90% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 1. 就活スケジュールの確認 2 2. 職業理解 6 3. グループワーク 16 行政の課題をテーマとする 4. 就職支援 6 その他 関連科目

2025 年度 年 度

シラバス (授業概要)

時間数は45分換算			科目コート	J-G03
	授業形態		学科	斗・コース

授 業 科 目 名		授業形態		学科・コース	
	シュウカツゼミ				
	就活ゼミ		講義・演習 対面	公務員科 1年制	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	込山 まゆみ
授業の目	授業の目的・目標(科目のねらい)				
	1 .				

	(I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
知識・技能	社会人としての基本的なビジネスマナーを身に着ける。公務員としての立ち
大阳联 1又形	居振る舞い、身だしなみ、言葉づかいを身に着ける。
思考力・判断力・表現力	自らの立ち居振る舞いが人にどういう印象や影響を与えるかを考えて動く
心与刀,刊刷刀,衣先刀	力。
West Wards 2 7 1	グループワークを通じ、連携、協調性を深める。
学びに向かう力	

授 業 の 概 要

- ・毎時間、敬語の小テストを実施し、適切な言葉遣い(敬語)を繰り返して学習する
- ・ロールプレイングを数多く取り入れ、実践に近い電話応対、名刺交換などを学習する
- ・デスクワークとしてのビジネス文書の学習を徹底する

成績評価基準

期末試験および日常評価により総合的に判断する。

筆記試験 80% 日常評価 20%

使用テキスト・教材

ビジネスマナー (有限会社グロー)

※実務経験のある教員が担当する科目である

講師作成テキスト・プリント・パワーポイントなど

授業内容 · 授業計画

その他	•	関連科目	
			! !
		• 名刺交換	!
• 社内文書、社外文書	! !	・湯茶の接待	! !
・領収書の書き方		6. 接遇の心得	4
・書き方の決まり		・伝言メモの書き方	!
・文書のルール		・かけ方・受け方	: : :
3. ビジネス文書	8	5. 電話応対(復習)	4
・場面に適した敬語の使い方		葬儀でのマナー	! ! !
2. 敬語	6	・結婚式でのマナー	
1. 1年次振り返り、復習	2	4. 冠婚葬祭	6
	時間数		! !
	時間数		:

科目コード J-SR01 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 スウガク 演習 対面 公務員科 1年制 数学 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 60 入野 剛弘 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 高校1年生レベルまでの数学の計算、図形問題に向かう。 知識・技能 知識を適切に使うための判断力、工夫する力を育む。 思考力・判断力・表現力 一見難しく見える問題も基礎の組合せである。諦めず、問題の中で基礎的な 学びに向かう力 ことを積み重ねる力を養おう。 授 業 の 概 要 公務員試験で出題されやすいジャンルを中心に演習を行う。頻出問題に必要な知識量は多くはないので、 基本をきちんと身に着け、応用ができるようにしたい。 成績評価基準 日常評価(進行具合)、出欠席により総合的に判断する。 日常評価 80% 出欠席 20% 使用テキスト・教材 公務員試験 過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 自然科学 (テキスト) 補助プリント 授業内容・授業計画 時間数 1. 基礎計算力の強化 6 2. 数と式 問題演習 6 3. 2 次関数 問題演習 6 4. 図形 問題演習 6 5. 総合問題演習 6 その他 関連科目 数的処理

年 度

科目コード J-SR02 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 スウテキショリ 演習 対面 公務員科 1年制 数的処理 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 通年 必修 90 石上 美季子 3 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 公務員試験の中の数字を扱う問題を学習する。 知識・技能 一つの解き方に固執せず、柔軟に数字を組合せて解く工夫もしていくことで 思考力・判断力・表現力 思考力を育む。 得意に繋げられるジャンルを見つけていくこと。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 問題の難易度は高くないが、論理的な発想が必要な問題も多い。出題パターンが決まってくる分野では、 標準レベルの問題までを繰り返し学習することで確実に身に着けたい。柔軟な発想が必要な問題も出題 されるので、さまざまな肺胞を身に着ける中で応用力を養成していくとよい。 成績評価基準 いくつかの単元ごとの小テスト、期末テスト、日常評価により総合的に判断する。 小テスト 20% 期末試験 80% 使用テキスト・教材 公務員試験 過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 数的処理(問題集) 補助プリント 授業内容・授業計画 時間数 1. 方程式と不等式 問題演習 16 2. 数の性質と計算 問題演習 14 3. 場合の数と確率 問題演習 4. 図形 問題演習 12 5. 総合問題演習 40 その他 関連科目

年 度

科目コード J-SR03 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 カダイショリ 演習 対面 公務員科 2年制 課題処理 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 渡邉 尚明 前期 必修 90 3 1 石上 美季子 授業の目的・目標(科目のねらい) 公務員試験における課題処理(判断推理)の基礎の復習~応用問題を学ぶ。 知識・技能 問題ごとに図表を利用し、適切に情報を整理することで論理的に考える力を 思考力・判断力・表現力 育む。 情報の見逃しをしないよう丁寧に文章を読み解く必要がある。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 教養試験の得点を安定させるためには、この科目で安定して高得点を目指すことが必須である。論理的 に考えながら解き進める問題が出題されるので、出題形式により、どんな図や表を書けば解答に早く近 づくのかを確実に身に着ける必要がある。 成績評価基準 いくつかの単元ごとの小テスト、期末テスト、日常評価により総合的に判断する。 小テスト 30% 期末試験 60% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 公務員試験 過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 課題処理(問題集) 補助プリント 授業内容・授業計画 時間数 1. 論理分野 総復習 10 2. 論理分野 問題演習 16 3. 図形分野 総復習 8 4. 図形分野 問題演習 10 5. 総合問題演習 46 その他 関連科目

年 度

科目コード J-SR04 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 シリョウカイシャク 講義・演習 対面 公務員科 1年制 資料解釈 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 30 須田 祐司 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 表とグラフの2形式について、数字の捉え方や比較の方法について学ぶ。 知識・技能 問題に使用される表は、実際に社会で使われる表を抜粋したものである。そ 思考力・判断力・表現力 のため、何を比較するための図表なのかを捉えたい。 データをざっくり捉えられるようになると社会人として視野が広くなる。 学びに向かう力 今だけの学習と考えず、資料から様々なことを読み取ろう。 授 業 の 概 要 図表からわかること、数字の比較を短時間で判断するために、読み取りたい内容を概数で捉えられるよ うな考え方を学ぶ。増減率や割合など、実際に身の回りで使われているものなので素早く判断する方法 をしっかりと身に着けることが大切である。 成績評価基準 小テスト、期末テスト、日常評価により総合的に判断する。 期末試験 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 公務員試験過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 数的処理(問題集) 補助プリント 授業内容・授業計画 時間数 1. 1年次の復習 4 分数の大小比較 小数の大小比較 2. 実数と構成比 6 3. 指数と構成比 6 4. 増減率 4 5. その他の資料 2 8 6. 総合演習 その他 関連科目

年 度

シラバス (授業概要) 科目コード J-SR05 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 ブンショウリカイ 講義・演習 対面 公務員科 1年制 文章理解 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 江上 広太郎 前期 必修 90 3 1 笹原 涼子 授業の目的・目標(科目のねらい) 国語と英語の長文読解を中心に総合的に学ぶ。 知識・技能 文章の構造を捉え、文章の中から大切な部分を論理的に判断する。 思考力・判断力・表現力 感覚で解くのではなく、文章構造を大切にすること。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 公務員試験の文章理解の実践問題を行う。これまで何となく解いてきた場合もあると思うが、文の仕組 み、伝えたいことを伝えるための決まり文句などを知り、確実に文脈を捉えられるよう、深い理解に繋 げよう。 成績評価基準 期末試験および日常評価により総合的に判断する。 筆記試験 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 公務員試験 過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 文章理解 (テキスト) 授業内容・授業計画 時間数 1. 英語 2. 国語 1-1 英文法復習 10 2-1 内容把握 14 1-2 ことわざ 6 2-2 部分解釈 14 1-3 長文読解 2-3 空欄補充 14 10 2-4 文章整序 12 2-5 文法・語彙 10 その他 関連科目

年 度

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-SR06 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース キョウヨウリカ 演習 対面 公務員科 1年制 教養理科 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 石上 美季子 前期 必修 60 1 渡邉 尚明 授業の目的・目標(科目のねらい) 公務員試験の自然科学のうち、「物理」「化学」「生物」「地学」の演習を行 知識・技能 物事への想像力、考察する力、適切に判断する力の基礎。 思考力・判断力・表現力 理科が日常の中に密接に関わっていることを意識するとよい。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 頻出分野を中心に、演習問題を通じて知識の定着を図る。問題のキーワードになる言葉を意識し、必要 な情報を素早く判断できるよう練習する。 成績評価基準 期末試験および日常評価により総合的に判断する。 筆記試験 70% 日常評価 30% 使用テキスト・教材 公務員試験過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 自然科学(問題集) 補助教材 授業内容・授業計画 時間数 1. 物理分野演習問題 4 2. 化学分野演習問題 8 3. 生物分野演習問題 6 4. 地学分野演習問題 4 8 5. 総合演習 その他 関連科目

年 度 2025 年度 科目コード J-SR07 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 セイジケイザイ 講義・演習 対面 公務員科 1年制 政治経済 時間数 履修学年 履修時期 必修·選択 単位数 担当教員 前期 必修 須田 祐司 60 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 政治の仕組みにおける日本と外国の違いを学ぶ。経済史、現代の経済の仕組 知識・技能 みを学ぶ。 現代社会への関心、現代の課題を捉えるための基礎力。 思考力・判断力・表現力 関心を持ったニュースについて、周りと考えを共有する。 学びに向かう力 授業の概要 政治・経済の範囲は広くはなく、公務員には非常に大切な知識である。公務員試験で確実に点数を取れ る分野にすべく、演習問題で知識を定着させる。 成績評価基準 期末試験および日常評価により総合的に判断する。 筆記試験 90% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 公務員試験過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 社会科学 (テキスト) 公務員合格セミナー 初級本科 社会科学 演習ブック 授業内容・授業計画 時間数 1. 政治分野 40 2. 経済分野 20 1-1 国内政治制度 2-1 市場理論 2-2 GDP と景気変動 1-2 国際政治制度 2-3 金融制度 1-3 基本的人権 1-4 国家統治の三権 2-4 経済学史 2-5 国際政治 その他 関連科目

時事問題研究

シラバス (授業概要) 科目コード J-SR08 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース キョウヨウジンブン 演習 対面 公務員科 1年制 教養人文 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 西洋および東洋の思想・文化・芸術の知識をつける。 知識・技能 幅広い教養を身に着ける。 思考力・判断力・表現力 すべてを網羅するのではなく、知っている知識から答えを導く練習もしっか 学びに向かう力 りと行っていくこと。 授 業 の 概 要 公務員試験の「思想・文化・芸術」の実践問題に取り組む。ゲーム感覚で作品について触れながら実践 問題で定着させていく。 成績評価基準 期末試験および日常評価により総合的に判断する。 筆記試験 90% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 公務員試験過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 人文科学(問題集) 公務員合格セミナー 初級本科 人文科学 演習ブック 授業内容・授業計画 時間数 1. 文学分野演習問題 6 2. 芸術分野演習問題 6 3. 倫理分野演習問題 6 4. 総合演習問題 12 その他 関連科目

年 度

科目コード J-SR09 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 チリレキシ 講義・演習 対面 公務員科 1年制 地理·歷史 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 60 石上 美季子 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 日本史・世界史・地理の3つの分野の演習問題。 知識・技能 「なぜ」という理由に関心を持つこと。 思考力・判断力・表現力 自分が関心を持てる分野からでよいので知識を広げていこう。 学びに向かう力 授業の概要 公務員試験の地理・歴史分野の学習である。範囲は広いが出題数は少ない。ざっくりと年代を捉え、正 しい出来事を捉えることで得点に繋がる。実践問題を解きながら、歴史の「なぜ」に焦点を当てて思い 出していこう。 成績評価基準 期末試験および日常評価により総合的に判断する。 筆記試験 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 公務員試験過去問徹底分析 絶対合格シリーズ 人文科学(問題集) 講師オリジナルまとめノード 授業内容・授業計画 時間数 1. 日本史分野 総合演習 30 2. 世界史分野 総合演習 20 3. 地理分野 総合演習 10 その他 関連科目

年 度

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-SR10 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース ソウゴウエンシュウ 演習 対面 公務員科 1年制 総合演習 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 学生として基本的な生活態度を身につけるとともに、2年生になじむ。 知識・技能 思考力・判断力・表現力 授業を受けるために必要な環境を整える。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 公務員試験の「思想・文化・芸術」の実践問題に取り組む。興味関心のある分野があれば、インターネ ットで調べ、見る・読む・聞くなどを行うとよい。 成績評価基準 出席状況および日常評価により評価する。 出 欠 席 90% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 1. オリエンテーション 8 2. プレースメントテスト 2 3. 2年生との交流 6 4. 公務員試験問題演習 14 その他 関連科目

2025 年度

シラバス (授業概要)

時間数は45分換算

十人人	2020 千皮
科目コード	J-SR11

授業科目名		授業形態		学科・コ-	ース	
)	メンセツタイサク 面接対策		講義・演習	対面	公務員科 1	1 年制
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教	教員
1	後期	必修	30	2	込山 ま	まゆみ
授業の目	的・目標(科目のねらい)			
知ります。技能			わかりやすく伝える技術 立ち居振る舞い			
思考力・判断力・表現力		n向きに相手に伝えようとすること				
正しい発音、		正しい発音、	正しい敬語なども意識し、緊張感を持って臨む			

授 業 の 概 要

学びに向かう力

なぜ公務員になりたいのか、授業を通して志望動機を確立する。 作成した自身のPR等を、「読む」のではなく「話す」ことに重点を置く。 個人面接のみならず、集団面接のロールプレイングの充実。

成績評価基準

授業態度

各項目についての記述

発表・ロールプレイングを評価の基準とする

発 表 ロールフ。レイ

40% 60%

使用テキスト・教材

勝つための就職ガイド SUCCESS (株式会社 ウイネット) 講師作成テキスト・プリント・スライド資料など

授業内容•授業計画

	時間数		1 1 1
1. 公務員としての心得の再確認	4	5. 集団面接・	4
2. 自己分析	4	・ロールプレイング	
3. 自己紹介	4	6. グループディスカッション	4
・長所、短所の見直し		・ロールプレイング	
・ロールプレイング		7. 総まとめ	4
4. 志望動機	6	・弱点の克服	! !
・自分自身の志望動機			
・ロールプレイング			! ! !
			! ! !
			! ! !
7 all			

その他	関連科目
※実務経験のある教員が担当する科目である	小論文・作文演習

科目コード J-SR12 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 ジジモンダイケンキュウ 講義・演習 対面 公務員科 1年制 時事問題研究 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 世の中の課題や今起こっている出来事を知る。 知識・技能 ニュースを見て、自分の考えを表現する。 思考力・判断力・表現力 ニュースに関するそれぞれの考え方・捉え方の違いを知る。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 公務員試験では筆記、面接共に時事問題に関することが出題される。そのため広く、今の世の中の課題 や変化について知り、そこから自らの意見を持ち、考察することが大切である。また、自分が知らなか った出来事に触れることで公務員としての視野を広げておきたい。 成績評価基準 課題提出、クラス内発表、日常評価により総合的に評価する。 課 題 40% 発 表 40% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 公務員試験速攻の時事 授業内容・授業計画 時間数 1. 身近な地域の課題について 6 2. 子供・子育てに関する課題について 4 3. 経済関連の課題について 4 4. IT に関する知識・課題 4 5. 労働に関する課題について 4 6. 環境に関する課題について 4 7. まとめ 4 その他 関連科目 政治・経済

年 度

科目コード J-SR13 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 ショウロンブンサクブンエンシュウ 演習 対面 公務員科 2年制 小論文・作文演習 時間数 履修学年 履修時期 必修・選択 単位数 担当教員 前期 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 説得力をもって自分のこれまでの経験と考えを表現することを学ぶ。 知識・技能 社会人として相手に伝わる文章の作成力を育む。 思考力・判断力・表現力 実際に書くことで人に伝わる文を自分のものにしていく。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 公務員試験でよく出されるテーマをもとに毎回作文を提出する。面接での受け答えと作文の内容は一致 している必要があるため、自分自身の経験がテーマになる場合は具体的に経験を書けるようにし、地域 課題がテーマの場合は日頃から考えていることを書けるよう、知識を増やしておく必要がある。 成績評価基準 作文の提出と日常評価にて総合的に判断する。 課 題 90% 日常評価 10% 使用テキスト・教材 公務員教科書 2 週間完成 動画とアプリで学ぶ 論文・作文 全公務員試験対応 授業内容・授業計画 時間数 1. コミュニケーションへの考え方 6 2. 社会人としての考え方 6 3. 経験から学んだこと 6 4. チーム・協働への考え方 6 5. その他のテーマ 6 その他 関連科目 面接対策

年 度

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-SR14 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース ビジネスソフト 演習 対面 公務員科 1年制 ビジネスソフト 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 後期 必修 60 笹原 涼子 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 幅広く Excel の操作を学ぶ。 知識・技能 実務にどう生かせるかを合わせて知っていく。 思考力・判断力・表現力 検定の合格を目指す。 学びに向かう力 授業の概要 Excel の多機能を理解し、使いこなせるように一つ一つ操作し、反復する。 MOS Excel の検定合格を目指し、実力を測る。 実際の業務での使い方を知る。 成績評価基準 毎時間成果物を提出し、日常評価により総合的に判断する。 課 題 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 MOS 攻略問題集 Excel (日経 BP 社) 授業内容・授業計画 時間数 1. 模擬問題、実習データのインストール 2 2. EXCEL 基本知識 10 3. 模擬問題(練習モード) 30 4. 模擬問題(本番モード) 18 その他 関連科目 ※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス (授業概要) 科目コード J-SR15 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース ジュケンタイサクトクベツコウザ 演習 対面 公務員科 1年制 受験対策特別講座 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 通年 必修 60 石上 美季子 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 職業についての理解を深める。課題研究では行政・消防・警察の公務員以外 知識・技能 の職業について知る。 複数の職業について知ることで、比較し、課題を見つける力に繋げる。 思考力・判断力・表現力 意見交換により、視野を広げる。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 公務員になるには、公務員の仕事についての考えを自分の言葉で話す必要がある。それには公務員以外 の職業の理解も必要になるため、幅広く職業について知り、考えを深めたい。 成績評価基準 出席状況および日常評価により評価する。 出欠席 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 1. 公務員説明会 20 • 市役所説明会 • 消防職説明会 • 警察官説明会 · 国家公務員説明会 2. 課題研究 20 「1」以外の職業について知る 3. 公務員の課題について考える 20 その他 関連科目 面接対策 小論文作文演習

年 度

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-SR16 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース ソツギョウケンキュウ 演習 対面 公務員科 1年制 卒業研究 履修学年 履修時期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 中村 知枝美 後期 必修 60 1 石上 美季子 授業の目的・目標(科目のねらい) 2年間の学習のまとめとして、世の中の課題に関するテーマを研究し、発表 知識・技能 自ら考え、まとめて伝える力をつける。 思考力・判断力・表現力 グループで一つのテーマについて分担し進める。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 公務員として取り組むべき様々な課題の中からテーマを決め、調査・研究する。わかりやすく伝えるに はどのような順序、言葉、内容にすればよいかをしっかりと検討し、発表する。 成績評価基準 発表・論文の内容を主とし、取り組み姿勢を含め評価する。 レポート 60% 日常評価 40% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 1. プレゼンテーション技法 10 20 2. 卒業研究 ・テーマの選定 資料・情報収集 ・資料作成 ・リハーサル • 発表 その他 関連科目

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-SR17 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース モギエンシュウ 演習 対面 公務員科 1年制 模擬演習 履修学年 履修時期 | 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 前期 必修 60 石上 美季子 1 授業の目的・目標(科目のねらい) 自分の実力を知り、得点源にすべきジャンル、弱点補強について考える。 知識・技能 集中力や、向上心、工夫して取り組もうとする力をつける。 思考力・判断力・表現力 試験への心構えを学び、最後の1秒まで諦めずに取り組む。 学びに向かう力 授業の概要 試験は誰でも緊張するものである。模擬試験を通じ試験への向かい方を知り、本番でしっかりと力を出 し切れるよう練習する。漫然と問題に向かうのではなく、毎回自分の目標を決め、達成するつもりで取 り組む。 成績評価基準 出席状況および日常評価により評価する。 出欠席 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 実務教育出版 模擬試験 麻生キャリアサポート 模擬試験 授業内容・授業計画 時間数 1. 学内模試 24 2. 実践模試 30 3. SPI・SCOA 模試 6 その他 関連科目

年 度 2025 年度 シラバス (授業概要) 科目コード J-SR18 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース シカクシュトクコウザ 演習 対面 公務員科 1年制 資格取得講座 履修学年 履修時期 必修·選択 時間数 単位数 担当教員 後期 必修 30 石上 美季子 1 1 授業の目的・目標(科目のねらい) Word・Excel の応用。または簿記検定の知識。 知識・技能 それぞれの職種に必要な思考力の基を育む。 思考力・判断力・表現力 職業に関連する資格のため、前向きに取り組みたい。 学びに向かう力 授 業 の 概 要 Word・Excel については、これまで学んだ知識が実務でどのように使われるのか、効率よく業務を進め るためには学んだことをどう生かしたらよいのかを、表や文書を作成しながら身に着ける。 簿記については過去問題集を中心に、貸借対照表・損益計算書が作れるようにする。 成績評価基準 出席状況および日常評価により評価する。 出欠席 80% 日常評価 20% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 コンピュータの知識 1. Word 演習 10 2. Excel 演習 20 簿記の知識 1. 過去問題演習 30 その他 関連科目